

福祉にいがた

Fukushi Niigata

CONTENTS

巻頭特集

入院病児や家族などが滞在

マクドナルド・ハウス にいがた

新大病院隣にオープン（2～4面）

- 県北豪雨から1カ月いまだ爪痕生々しく
- 長岡会場で多彩に福祉・介護・健康フェア
- 認知症理解へ世界月間、ユニプラ橙色に

10月号
2022
第842号



絵「原始」
作家・佐藤葉月（妙高市）

<作者一言> 始まりの始まりなのか？ 終わりの始まりなのか？



社会福祉
法人

新潟県社会福祉協議会

<https://www.fukushiniigata.or.jp/>

バックナンバー
こちらから

ドナルド・マクドナルド・ハウス にいがた

新大が誘致建設費半額募金集め

病院隣に今月1日開設

病気治療のため入院する子どもに付き添う家族・保護者が宿泊滞在できる施設「ドナルド・マクドナルド・ハウス にいがた」(略称「にいがたハウス」)が10月1日、新潟市中央区の新潟大学医学歯学総合病院の隣地にオープンしま

した。「にいがたハウス」は、付き添いの負担軽減を目指し大学側が誘致しました。建設費に多額の浄財が集まり、運営をボランティアが支えるなど、大勢の温かな気持ちに包まれた施設が船出しました。

1人1日(1泊千円)付き添う負担軽減

巻頭集

国内の施設は、公益財団法人「ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン」(東京)が

設置・運営しています。21年前に「せたがやハウス」(東京)がオープンして以降、全国に11ハウスが造られました。「にいがたハウス」は全国12番目、本州日本海側では初めてです。

子どもが病気にかかって大学病院や高度医療病院に入院する場合、付き添う家族は狭い病室で寝泊まりするなど、精神的・肉体的な負担がのし掛かります。病院が遠隔地の場合や長期入院の場合だと、経済的負担も増します。

家族の負担については大学や大学病院の小児医療関係者がかねてから心を痛めており、大学は令和元年、マクドナルド・ハウス誘致を正式決定しました。

財団側との交渉で建設費約3億5千万円の半分を大学側が賄うことになり、令和元年10月、富田善彦病院長を代表とした募金委員会が発足しました。学外からの募金委員には県知事をはじめ、県内政財界の有力者が就任。精力的に募金活動を展開しました。

募金期間は11カ月の短期決戦でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に脅かされました。大学病院の小林晴男経営企画課長は「募金に動けず苦しかった」と振り返ります。

それでも当初予定より2カ月遅れただけで、令和2年10月に目標額以上を達成しました。

募金は今後も続けられ、人件費や光熱費などの運営費に充てられます。



「ドナルド・マクドナルド・ハウス にいがた」

入院病児や付き添う家族など滞在

(3ページへ続く)

(2ページから続く)

建設用地として大学側は使わなくなった施設の敷地を提供しました。場所は国登録有形文化財・新津記念館の近隣で、大学病院の道路向かいです。

令和3年9月に着工、今年6月には鉄筋4階建て、延べ床面積約850平方メートルの施設が完成しました。

1階はロビーや図書室を兼ねた多目的ルームなど。2階はダイニングルームと自炊できるキッチンなど。3・4階には寝泊まりするベッドルームが計10室（1室にベッド2台）あります。利用料金は1人1日（1泊）



1階 ドナルドがお出迎えするロビー



2階 ダイニング。カウンターの奥はキッチン



3・4階 ベッドルーム。ライティングデスクや整理タンスも

ハウス運営ボランティア

募集の倍、300人登録 設置側「新潟温かい」

「ドナルド・マクドナルド・ハウスにいがた」
所在地と電話番号
〒951-8122

1000円です。オープンまでの準備期間に「うれしい誤算」もあったそうです。

「にいがたハウス」の常勤職員は少数で、施設の清掃などの運営は主にボランティアが支えます。ボランティアには宿直スタッフと、3交代シフトの昼間スタッフがあります。

今春、ボランティアを150人募ったところ、その倍の約300人が応募し登録しました。全国には新潟より大きなハウスもある中

新潟市中央区旭町1番町756の9
利用申し込みや問い合わせは025(210)0577へ。

で、現在のボランティア登録数としては新潟が全国トップです。

「にいがたハウス」の稲川欣也マネジャー(長岡市出身)

マネジャーに聞く

「ドナルド・マクドナルド・ハウスにいがた」の運営方針などについて、稲川欣也ハウスマネジャーに聞きました。



稲川欣也
ハウスマネジャー

自宅の気分 提供したい

「ボランティアには多くの応募がありました。50代の女性を中心に大勢が登録されました。79歳の男性もいます。新潟市からだけでなく、長岡市や柏崎市、南魚沼市の人もいて

は「新潟は温かい土地柄だと改めて思った」と語ります。大学や病院関係者などの熱意から生まれ、ボランティアに支えられる「にいがたハウス」。病気治療に挑む子どもと家族の強い味方となるに違いありません。

感謝しています」

「昼間のボランティアはどんな活動を？」

「1人月に1、2回、1回3時間の活動となり、館内清掃や洗濯などに当たってもらいます」

「どのような「ハウス」を目指しますか？」

「お子さまを心配される保護者さんが自宅に戻った気分になれる、温かい空間を提供したいと思います。そのためにボランティアのお力をお借りします」

「運営に工夫などは？」

「寄付された食品の有効活用を工夫します。例えば深夜に戻って来てお米を炊いて冷凍保存しておくことなどが考えられます」

「にいがたハウス」に歓迎と期待

入院病児に付き添う家族が滞在できる「ドナルド・マクドナルド・ハウス にいがた」（にいがたハウス）のオープンに関係者などから歓迎と期待の声が上がっています。

セコム上信越株式会社
代表取締役会長

野沢 慎吾氏



医学部を卒業して首都圏で小児科医となった私としては、治療の子どもに付き添う家族保護者のご苦労や大変さが分かります。家族らの宿泊滞在施設が必要だと考え、新大

医学部小児科の齋藤昭彦教授も推進する「にいがたハウス」実現のため、私も寄付しました。

さらに、自身が所属する国際社会奉仕団体ロータリークラブや新潟経済同友会の会合などでも寄付が広がるよう、様々に働き掛けました。ボランティアをはじめ、いろいろな人たちが協力して、すばらしい施設になることを期待します。

認定NPO法人ハートリンク
ワーキングプロジェクト副理事長

林 三枝氏



小児がん経験者の支援活動をする当法人は、入院に付き添う家族の宿泊滞在施設の実現を求めてきたので「にいがたハウス」オープンには本当にうれしいです。

私自身、上越に住んでいたころ、小学生の長女が白血病にかかって新潟市の病

方々の支えで運営されます。単なる小児患者さんご家族の宿泊滞在施設ではなく、コミュニティ全体

温かいご支援に感謝

で医療を支える文化が形成される、そのような拠点として育てていきたいと考えています。

これまで建設に向けて2000人を超えるたくさんの方々からご寄付を頂きました。皆様からの温かいご支援に心から感謝申し上げます。

これからの運営も皆様のご協力が必要です。引き続き温かいご支援をよろしくお願いたします。

院に入院しただけに、遠隔地から付き添うことの大変さは知っています。募金集めは大変でしたが、目標を達成でき、県民の優しさに感謝しています。患者家族が安心して過ごせる施設になってほしいと思います。

がん患者支援グループ
「はなのね」共同代表

遠藤ゆき子氏



「はなのね」は定期的に「がんカフェ」を開き、闘病者や体験者から心を軽くするため、自由に語り合ってもらっています。

難病の治療の子どもたちに付き添う保護者の大変さは容易に想像できるため「にいがたハウス」オープンには本当に喜びです。定員の倍の300人もボ

ランティアが集まったのはすごいこと。温かい県民の心の一つにして施設を育てて発展させ、宿泊滞在定員を増やす拡張工事に結びついていくことを願います。

柏木 明美さん

|| 新潟市東区 ||



勤めを定年で辞めて時間があるので、お手伝いできればとボランティアに応募しました。以前、小児科病棟で点滴を受け闘病する子どもたちを見て「頑張っているな」と感じたことがあり、子どもたちを応援したい気持ちもあります。

月に1、2回の活動ですが、掃除や洗濯は主婦として手慣れているので、利用者さんが過ごしやすいように頑張ります。ボランティア同士、さらには利用者さんとも刺激し合えれば、と考えています。

新潟大学医歯学総合病院院長

富田 善彦氏



「ドナルド・マクドナルド・ハウス にいがた」が10月1日、いよいよオープンしました。ハウスはボランティアさんをはじめ、多種多様な

ファンド収益2367万寄付

県社協など3団体と県へ

投資信託「にいがた未来応援日本株ファンド 日本株ファンド」を設定・運用する明治安田アセットマネジ

メント（AM、東京）と販売する第四北越証券（長岡）が8月24日、県社会福祉協議会と県母子寡婦福祉連合会、県看護協会の福祉3団体に計約1367万円を寄付しました。寄付対象には、新型コロナウイルス感染症拡大の医療現場で奮闘する看護師へ感

謝の意を表そうと、県看護協会が初めて加えられました。

両社は県にも1000万円を贈呈。今年の寄付総額は約2367万円となりました。寄付金は、教育格差の解消や介護支援などに使われます。

このファンドは、顧客からの手数料一部を寄付金として蓄える仕組みで、1年間に貯まった全額を毎年、寄付しています。ファンド創設から3年たつて顧客と販売残高ともに伸びており、今年の寄付総額は昨年より1000万円近く増えました。

新潟ユニゾンプラザでの贈呈式では第四北越証券の小原清文社長と、明治安田AMの西尾友宏社長が「寄付は大勢の顧客のおかげ」などとあいさつ。

県社会福祉協議会の関原常務理事は「子どもたちの健やかな育ちに資するよう活用したい」と謝辞を述べました。



第四北越証券と明治安田AMからの寄付金贈呈式

第72回新潟県民福祉大会 11月10日に長岡市で開催

児童福祉法施行75周年及び民生委員児童委員制度発足105周年を記念して「第72回新潟県民福祉大会」（主催＝県、県社会福祉協議会、県共同募金会、長岡市、長岡市社会福祉協議会）を開催します。

式典で社会福祉功労者を表彰した後、日本対がん協会会長の垣添忠生氏を講師に迎えて、記念講演を行います。



昨年の県民福祉大会

◆ 期日：令和4年11月10日（木）

◆ 場所：長岡市立劇場

◆ 内容

▶ 式典

社会福祉功労者に対し県知事表彰、県社会福祉協議会長表彰、県共同募金会長表彰を行います。

▶ 記念講演

講師は垣添忠生氏（日本対がん協会会長）です。

◆ その他

・開催要綱、申込書等は新潟県社会福祉協議会ホームページに掲載しています。

◆ 問い合わせ

新潟県社会福祉協議会 総務管理課

▶ 電話：025-281-5520 / ▶ ホームページ：https://www.fukushiniigata.or.jp

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料 (1名あたり) 団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	[新設]特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円			
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額	6,500円			
	手術保険金	入院中の手術	65,000円		
		外来の手術	32,500円		
	通院保険金日額	4,000円			
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外 ^(*)	初日から補償		
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷	×	○	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)			
年間保険料		350円	500円	550円	

商品パンフレットは
こちら



(ふくしの保険
ホームページ)

*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。
例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

福島県会津の山中に残る、江戸時代の宿場町・大内宿を夏に訪れた。茅葺きの家屋が軒を並べた通りは、参勤交代の侍たちが今にも現れそうな雰囲気だった。通りに沿った水路には山水が流れ、手を入ると心地よかった。

江戸時代の宿場町

昔はここで米をとき、洗い物もしたのか。水仕事をしながらのおしゃべりは楽しかったろう。どんな人たちが暮らしていたのか。庶民の人生を、後世のわれわれが知るのには難しいが、喜怒哀楽は今と変わらなかつたはずで、そう思えば親近感もわく。昔の住人について考えていたら、凶弾に倒れた安倍晋三



大内宿
—。宿場町で人生の旅路についても考えを巡らせた、小さな旅だった。
(冷や水)

人生の旅路に思い巡る

元首相の葬儀で昭恵夫人が述べたという言葉に思い出された。「政治家としてやり残したことはたくさんあったと思うが、本人なりの春夏秋冬を過ごした」。吉田松陰の最期の言葉にちなんだとされる。翻って、自分の春夏秋冬は何だろう。自慢もなければ褒められるところもない。とある、発達障害のある小4男児が学校のプリントで「自分の長所」を問われ「生きている(こと)」と記し、それを見た母親が泣いたという。生きていくことはそれだけで尊い。自分自身の春夏秋冬は、そこにあるのかもしれない。一日一日を生き、粛々と歳月を重ねていこう。善行は積みそうもないから、せめて悪いことをしないようにして旅だつた。

薬物乱用
ダメ。ゼッタイ。
10~11月 県が防止運動



新潟県は厚生労働省との共催で「麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動」を今月から11月末まで県内各地で繰り広げます。運動の標題に昨年からの「大麻」を追加。広報や啓発の活動を積極展開するとして

います。大麻のほか麻薬や覚醒剤、シンナー、危険ドラッグなどの乱用は、乱用者の健康問題だけでなく、犯罪につながりかねないことから、本人や家族、社会に及ぼす影響は計り知れません。こうした悲劇や不幸を防ぐと、県は運動を通し、薬物乱用の危険性や害悪を広く県民に知らせるとともに、薬物乱用の根絶を目指し啓発を続けます。特に青少年を中心に、危険性や有害性を知らせることに力を入れます。期間中、ポスターの掲示やリーフレットの配布、薬物乱用防止指導員の活動をさらに進めるほか、学校での「薬物乱用防止教室」や保健所の「覚醒剤等相談窓口」などを活用し、啓発を続けることにしています。



赤い羽根情報

令和4年度共同募金公告

社会福祉法第119条に基づき新潟県における令和4年共同募金計画について、次のとおり公告します。

令和4年10月 社会福祉法人 新潟県共同募金会 会長 佐藤 明

1 募金募集の期間

- 一般募金 令和4年10月1日から令和4年12月31日まで
- 地域歳末たすけあい募金 令和4年12月1日から令和4年12月31日まで
- NHK歳末たすけあい募金 令和4年12月1日から令和4年12月25日まで
- テーマ型募金 令和5年1月1日から令和5年3月31日まで

2 募金の目標額 479,354千円

一般募金 374,002千円 地域歳末たすけあい募金 73,352千円 NHK歳末たすけあい募金 9,000千円 テーマ型募金 23,000千円

3 配分の範囲

新潟県内において、社会福祉事業、更生保護事業その他の社会福祉を目的とする事業を実施する者（国及び地方公共団体を除く。）とする。

4 配分の計画及び変更

配分要望のあった次に掲げる事業に対し、募金実績の範囲内において配分を行う。

(1) 一般募金の配分

①広域配分計画

●県広域社会福祉団体

(単位：千円)

配分先	配分予定額	使途内容
新潟県社会福祉協議会	5,419	県民福祉大会等
新潟県母子寡婦福祉連合会	300	県母子寡婦福祉大会
新潟県保育連盟	300	保育所問題研究委員会
新潟県身体障害者団体連合会	640	県身体障害者福祉大会等
新潟県老人クラブ連合会	397	県老人福祉大会
新潟県肢体不自由児協会	230	ふれ愛作品展
新潟県保護司会連合会	300	研修事業等
新潟県民生委員児童委員協議会	276	研修事業等
新潟県災害ボランティア調整会議	300	研修事業等
新潟県精神障害者家族会連合会	270	福祉フォーラムの開催
新潟いのちの電話	468	電話相談員養成事業
新潟県里親会	300	県里親大会等
新潟県聴覚障害者協会	300	北信越ろうあ者大会等

●県広域社会福祉施設

配分先	配分予定額	使途内容
かたひがし保育園	1,500	車両の購入
ケアハウス鈴懸	1,500	車両の購入
まつはらの家	1,126	車両の購入
五泉市村松デイサービスセンター	1,500	車両の購入
ショートステイときわ燕	1,408	車両の購入
デイサービスセンター紙ふうせん	1,500	車両の購入
ゆのさと園デイサービスセンター	1,500	車両の購入
ケアハウス希望の園	2,000	エレベーターリニューアル工事
大友中央保育園	185	厨房等水栓取替工事
早通保育園	2,000	園舎屋上防水改修工事
かきのみ園	915	運動場男子トイレ洋風便器化工事
かんばらの里	980	ガス乾燥機設備の購入
桑の里	1,200	歩行練習備品の購入
名立園	1,485	業務用衣類乾燥機の購入
裏館倶楽部	611	ポータブルトイレの購入
いっぶく	2,000	介護ベッドの購入
かしわハンズ	1,600	ドゥーコンディショナーの購入
平成園	1,740	電動ベッドの購入
しちかわ	2,000	特殊浴槽の入替
大平園	2,000	特殊浴槽の入替
チャレンジド立野	460	農耕作業場エアコンの設置
はもちの里トキめき館	2,000	特殊浴槽の入替
ウエルネス中条	1,443	業務用洗濯設備の購入

●社会福祉協議会地域活動用車両

配分先	配分予定額	使途内容
上越市社会福祉協議会ほか2団体	3,422	車両の購入

●地域活動支援センター

配分先	配分予定額	使途内容
地域活動支援センター培煎コーヒー温ほか12団体	1,900	研修・交流事業等
自遊館・まほろば	490	トイレ増設改修事業
すまいる分水	1,000	送迎用車両の購入

●児童養護施設等就労支援

配分先	配分予定額	使途内容
児童養護施設等に在籍する生徒等	5,000	運転免許取得費

●地域活動支援助成

配分先	配分予定額	使途内容
ギフト	182	障害者支援シッター事業
美穂の里	300	里親子支え合い事業
ふあみりり	245	簡易授乳室等貸出事業

●障害者支援施設車両

配分先	配分予定額	使途内容
障害者支援施設	3,000	車両の購入

●テーマ型募金支援

配分先	配分予定額	使途内容
福祉団体等	4,000	活動費

●その他

配分先	配分予定額	使途内容
災害等準備金積立金	13,500	災害時の活動積立金
災害見舞金	1,500	火災・水害の見舞金等
共同募金運動推進費	66,310	運動推進のための経費

●「アサヒ飲料全社運動連動寄付活動」助成

配分先	配分予定額	使途内容
にしっ子食堂 ほか1団体	100	活動費等

●赤い羽根ポスト・コロナ（新型コロナウイルス）社会に向けた福祉活動応援助成

配分先	配分予定額	使途内容
福祉団体等	2,000	活動費等

②地域配分計画

配分先	配分予定額	使途内容
地域福祉団体、社会福祉協議会など	55,578	高齢者への支援
	11,220	障害児（者）への支援
	23,367	児童・青少年への支援
	4,048	課題を抱える人への支援
	134,687	その他

(2) 地域歳末たすけあい

配分先	配分予定額	使途内容
地域福祉団体、社会福祉協議会など	34,169	高齢者への支援
	1,825	障害児（者）への支援
	2,416	児童・青少年への支援
	650	課題を抱える人への支援
	34,292	その他

(3) NHK歳末たすけあい

配分先	配分予定額	使途内容
福祉団体・難病患者支援団体など	9,000	車両整備等

(4) テーマ型募金

①あったか雪募金

配分先	配分予定額	使途内容
除雪ボランティア団体等	3,000	除雪資材の購入等

②新テーマ型募金

配分先	配分予定額	使途内容
福祉団体等	20,000	活動費等

※ 詳細な事業内容については赤い羽根データベース はねっと (<https://hanett.akaihane.or.jp/>) をご覧ください。

赤い羽根募金スタート

感染禍いまだセレモニー縮小

第76回「赤い羽根共同募金」が10月1日、全国一斉にスタートしました。募金は来年3月31日までで、県内の目標額は4億7935万円です。

新型コロナウイルスの感染拡大がいまだ、収束しな

ことから、新潟県共同募金会は新潟市中央区での開始セレモニーを今年も縮小して実施しました。

街頭やイベントでの募金呼び掛けも制約を受けていますが、今年も変わらぬ温かい善意とご協力をお願いします。



ひとひとりの小さな命。その命を「誰かの助け」に守りたい。気持ちが高まって十人、百人、千人と集まれば、大きな力になるはず。赤い羽根は、小さなことをしています。小さな活動をたくさん、何十年と続けていきます。つまり、赤い羽根は、大きなことをしています。

赤い羽根共同募金



赤い羽根情報

共同募金運動は「つながりをたやさない社会づくり」あなた一人じゃない」を全国共通助成テーマに展開されます。中央共同募金会作成によるポスターⅡ写真は、おたがいさま「支え合う人たちがいる」とのメッセージが記され、募金の大切さを訴えています。



ウオロクHDの本多伸一社長（左から2人目）、右隣は県共同募金会の佐藤明会長

募金百貨店第11弾 ウオロクHD 県共募へ108万

「募金百貨店プロジェクト」第11弾（実施期間5月9日～7月3日）で集まった募金約108万円の贈呈式が8月23日、新潟市中央区の株式会社ウオロクホールディングス（HD）本社で行われました。

このプロジェクトはスーパリーのウオロク各店舗を対象商品のサントリー飲料を購入すると1本につき1円が共同募金に寄付される仕



赤い羽根情報

組みです。贈呈式ではウオロクHDの本多伸一社長から新潟県共同募金会の佐藤明会長へ寄付金107万7669円の目録を贈りました。本多社長は「この活動を地域の社会福祉のために実施してきた。地域の社会福

県北豪雨被災地支援 災害等準備金から700万円を拠出

令和4年8月の県北豪雨災害による被災地の災害ボランティア活動を支援するため、県共同募金会は「災害等準備金」から総額700万円を拠出、災害ボランティアセンターを設置した村上市と関川村の社会福祉協議会、被災地の社会福祉協議会を支援した県社会福祉協議会にそれぞれ助成しましたので公告します。助成する拠出額は次の通りで

- ▽300万円 村上市社会福祉協議会、関川村社会福祉協議会
- ▽100万円 県社会福祉協議会



ボランティアたちに注意点などをオリエンテーリング＝村上市災害ボランティアセンター

祉がさらに発展するよう、これからも積み上げていきたい」とあいさつ。佐藤会長は謝辞の中で「地域活動助成のほかに、新型コロナウイルスの影響で生活に困窮する人や孤立している人も支援したい」と述べました。



泥の海一掃も 日常いつつ戻る

爪痕いまだ生々しく

ボランティア 残暑に耐え善意の汗

害の時、新潟の人たちに助けられた。お互い様です」と笑顔を見せました。

この日朝、県が仕立てた、新潟市発のボランティアバスで20人余りが村上VC前に降り立ち、小岩内集落入り口に向かいました。その農業用ビニールハウス3棟は押し寄せた泥に囲まれていました。ボランティアは大粒の汗を流しながら、泥をスコップで一輪車に載せ運び出しました。

もあって、被災地はどこも堆積した泥の除去が進みました。関川村湯沢の温泉街も見た目では泥が無くなりました。しかし、床上浸水の被害を受けた住宅は畳をはがしたまま。内装工事は始まった住宅もあります。元的生活に戻るのはまだまだ、先になりそうです。

【土石流が集落襲つ】

村上小岩内集落（34世帯）は川や沢の氾濫ではなく、土石流の被害を受けました。集落上部の砂防ダムに流木などが堆積して自然ダムとなった後に決壊。土砂崩れも加わって土石流が集落の住宅6棟を全壊、6棟を半壊させました。集落の道路から泥や流木は片付けられましたが、全壊住宅の1階は泥の塊に埋め尽くされていました。



土石流に直撃され、被害のすさまじさを伝える民家＝村上小岩内

8月初旬の豪雨で甚大な被害を受けた県北地域。災害1カ月後の9月4日、被災地に押し寄せた大量の泥はほぼ片付けられましたが、床上浸水の住宅では畳をはがしたまま。土石流が直撃した住宅も無残な姿をさらし、日常に戻るには時間がかかりそうです。



用水路脇の泥をのける、長野県からのボランティア＝村上小岩内

「ボランティアセンター」災害発生直後に村上市と関川村に設置された災害ボランティアセンター（VC）は9月12日から縮小、ボランティア活動を「週末型」「登録制」としました。災害直後の8月7日から9月11日までの間、各VCが受け入れたボランティア



農業ハウスの泥をかき出す、ボランティアバスの一行＝村上小岩内

は延べ6300人余り。要請のあった、延べ約940カ所へ送り出しました。【集う「善意」たち】災害1カ月の9月4日は朝から厳しい残暑。村上VCには長野県を朝4時に出発した約20人が駆け付け、小岩内へ向かいました。女性の1人は「長野も台風被



温泉街の側溝を埋めた泥と格闘するボランティア＝関川村湯沢

【被災温泉街】ボランティアたちの奮闘

この家が実家という男性は「父と母が苦労して建てた家で、父は泣いていた。周囲の畑などもみんなだめになった。この家は壊すしかない」と話しました。

アルツハイマー
9月「世界月間」

認知症 理解と支援へ



ユニゾンプラザ

橙色にライトアップ

9月の「世界アルツハイマー月間」に合わせ、21〜27日の夜間、新潟ユニゾンプラザ（新潟市中央区）の建物が認知症啓発活動のシンボルカラーの橙色（オレンジ色）にライトアップさ

れました。写真Ⅱ。

ライトアップは今年で3回目。昨年と同様、灯りが目立つよう工夫されており、点灯が始まると、館内の柱や天井にライトの光が反射、信濃川沿いのガラス面を美しい橙色に染め上げました。光には今、認知症に向き合っている人、これから向き合うかもしれない人など、全ての人へのエ

ルが込められました。

また、館内では認知症をテーマにした企画展示も実施されました。

ライトアップは、認知症への理解促進や館内にある「認知症コールセンター」の周知を目的に、県の委託を受け、県社会福祉協議会が実施。新潟市東区の新潟照明技研株式会社が機材提供や設営に協力しました。

認知症に関する悩みをお聞かせください

新潟県認知症コールセンター

【相談電話】 025-281-2783
【相談時間】 月～金曜日9:00～17:00
(年末年始・祝日を除く)

パレット新潟店営業日

2022年		10月					
日	月	火	水	木	金	土	
						1	
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30	31						

営業時間 11:30～16:30 □ …は休業日

福祉の店 パレット情報

編集後記

米の産出額など数多い「新潟の日本一」がまた一つ、増えた。小児患者や家族の滞在施設「ドナルド・マクドナルド・ハウス にいがた」のボランティア登録数だ。全国12ハウスには新潟より大きな施設もあるが、約300人はトップ。人情に厚い県民性の表れか。きつと全国一、温かみのある施設になるだろう。

全国のハウスを設置運営する財団法人は「にいがたハウス」を特集する広報誌を発行した。掲載された座談会で、新潟大医学部小児科の齋藤昭彦教授は米国の複数の小児病院での勤務経験を紹介。「どこもハウスが必ず併設されていた」として保護者が休める施設のオープンを喜ぶ。

本来、あってしかるべき、必要な施設が新潟にもできた。しかし、これで十分ではない。まだ必要な施設や制度はあるだろう。困る人が誰もいない理想社会を目指し、一歩また一歩が大切だ。

(佐)

この機関誌は、
赤い羽根共同募金の
助成を受け発行しています。



発行所／社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ
☎ 025-281-5584
発行人／関原 貢
定 価／5円（会員の購読料は会費に含む）

福祉にいがた
令和4年10月1日発行（毎月1日発行）
印刷／島津印刷株式会社